

地域こども体験学習事業は 地域でこどもをはぐくむための事業です

地域の大人（スタッフ）の役割が大切です。←そのためのサポートをしっかりとします。
「はじめて役員になった」「何から始めていいかわからない」←そんなお悩みにしっかりと応えます。

①まず、ご要望をお聞かせください。
それにそった、プログラムの提案をします。

参加予定の人数、実施希望の日時、会場、何かイメージしていることなどあれば、お知らせください。
☆実現に向けての相談です。
参加人数が少なくても、多くても、地域こども体験学習事業の豊富なプログラムの中から提案ができます。

③おとなミニ研修は、この事業に欠かせないプログラムです。実施した団体は、「やってよかった」と評価しています。

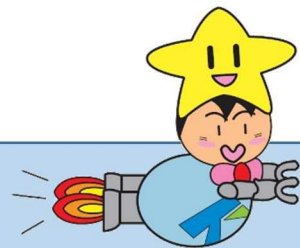
地域でこどもをはぐくむためには、おとなの働きが大切です。講師にまかせっきりではなく、おとなも子育てに参加しましょう。「おとなミニ研修」は、おとなが先ずたいけんして、楽しんでみることから始めます。
その自信が、こどもたいけんをサポートするのに役立ちます。

②お困りのことがあれば、お聞かせください。
解決の方法を一緒に考えます。

参加人数が決まらない。参加者が少ないかもしれない。
小さい会場しか準備できない。
急に決まったので、出来るかどうかかわからない。
これまでの経験を基に、スタッフがみなさんと一緒に考え、実現に向けた提案をします。

④ひらがなで「ちいきこどもたいけん」と検索して下さい。ホームページからの情報発信を、積極的に行います。

申込や問い合わせのためのフォームを準備しています。また、事業の内容、知っていただきたいことも掲載。申込書など必要な書類がダウンロードできるページもあります。フェイスブックやツイッターでも、情報の発信をしています。個人情報などに充分配慮しながら、順次更新しています。



先ずは、相談を！



大人数でも！

学校からの依頼で、PTA がこどもたちに人権学習の機会を提供することになりました。そこで、インドネシアの影絵芝居を提案。影絵を観るだけでなく、ガムラン音楽や、馬の踊りも体験しました。
一度に全学年が楽しめるプログラムはそう多くはありませんが、実施方法や内容を調整して、出来る限りご要望に応える形で実施します。



先ず、おとなが楽しもう

敬老会でこどもたちが、花束を作って贈る企画が生まれました。こども会の役員が、こどもたちに教えることができるようにと、フラワーアレンジメントの「おとなミニ研修」。ブライダルのコーディネートもする講師から、「花育」のお話もしっかりと学びました。



狭い場所でも 少人数でも

障がいのあるこどもを持つ親グループが、夏休みのイベントを企画しましたが、十分な広さの会場が確保できませんでした。
「セラピードッグにふれよう」を希望され、講師と調整をして、中型、小型犬で実施しました。
この事業では、会場の確保は団体の役割として、大変ご苦労をおかけしておりますが、工夫をして実施します。



プロの技を伝えます

講師はプロ、もしくは高度な技術を持った専門家です。相手がこどもであっても、決して力を抜きません。大人に対してもしっかりとわかりやすく伝えます。パントマイムでは海外公演の経験も豊富な、いいむろなおきさんが講師です。プロの技に触れられる貴重な時間です。